

概要版

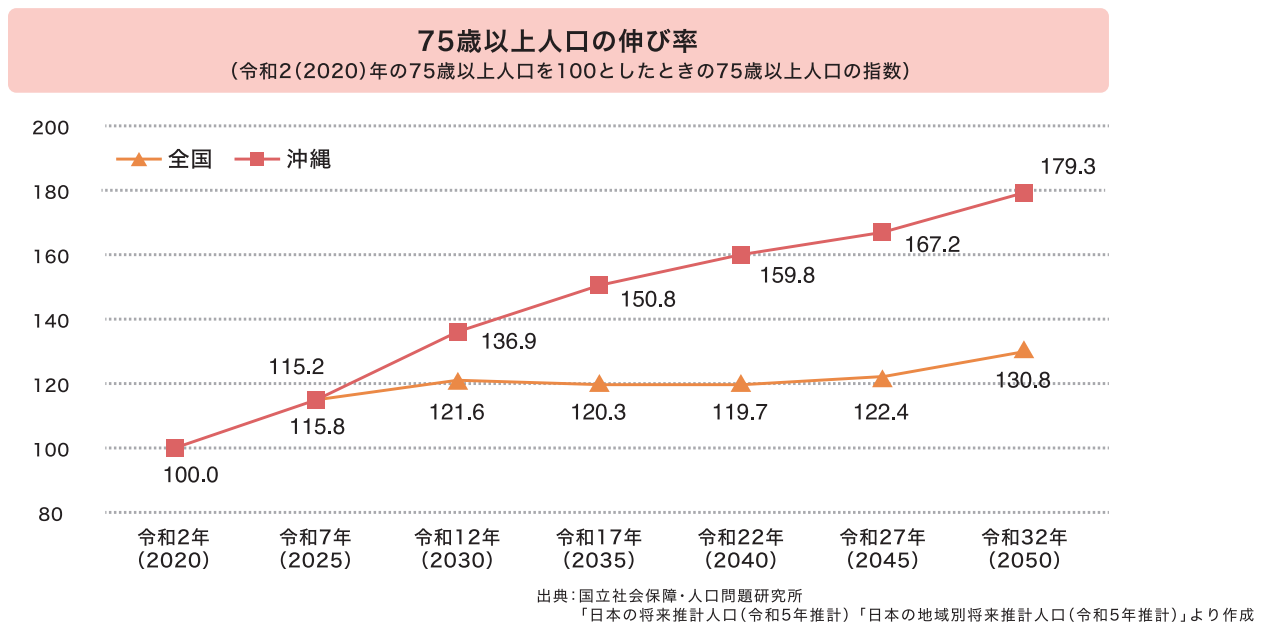


目的

高齢者の経済生活、住宅、健康及び生活環境等に関する実態と意識を把握・分析し、今後の高齢社会対策の総合的な推進に資する基礎資料とすること

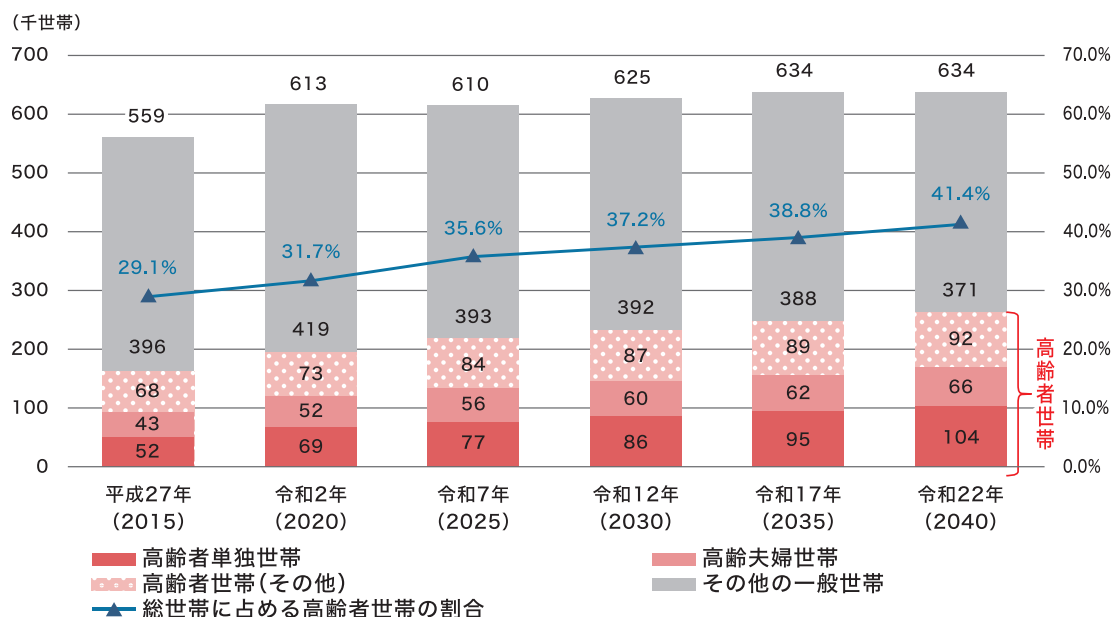
沖縄県における高齢化の「現状」と「これから」

75歳以上人口の長期的増加は沖縄県の特徴



支援が必要になりやすい高齢者単独世帯が増加する

【沖縄県の高齢者世帯数の推計(単位:千世帯)】

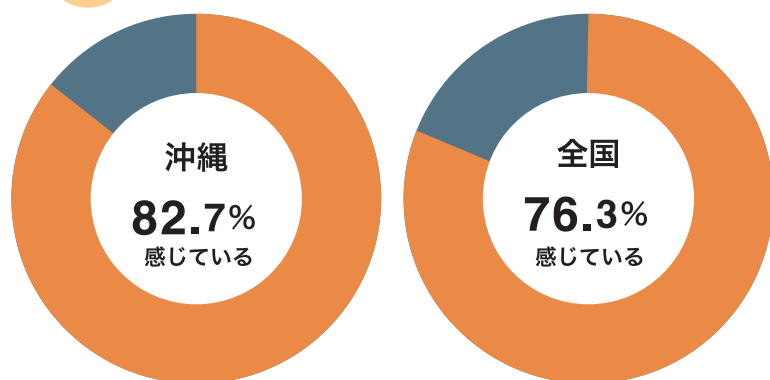


生きがい 編

生きがいを感じている割合

※引用したデータは、
内閣府「令和5年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査」
※全国データとの比較のため、65歳以上のデータで集計しています。

Q 生きがいを感じていますか？



「生きがいを十分感じている・多少感じている」と答えた人は
沖縄 82.7%(全国 76.3%)。
生きがいを感じている沖縄の高齢者は全国平均より高めでした。

生きがいを感じる時

※引用したデータは、
内閣府「令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査」

Q 生きがいを感じる時は？(複数回答)

	沖縄	全国
1位 孫や家族との団らん	62.8%	55.3%
2位 友人や知人と食事や雑談	57.6%	52.6%
3位 おいしい物を食べている時	54.8%	54.8%
4位 テレビやラジオを視聴している時	53.5%	43.2%
5位 趣味やスポーツに熱中している時	46.5%	53.5%

全国データとの差がプラス5ポイント以上あった項目は、「孫や家族との団らん」「友人・知人との食事や雑談」「テレビ・ラジオの視聴」「若い世代との交流」でした。



沖縄では「人との交流」が、高齢者の生きがいと強く結びついているんだね～

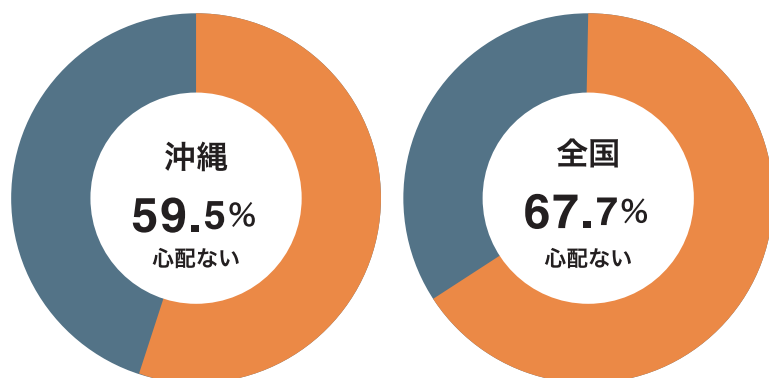


経済生活・健康 編

経済的な暮らし向き

※引用したデータは、内閣府「令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査」

Q 暮らしへの経済的な心配はありますか？



家計に不安を感じず暮らせている人の割合は**沖縄 59.5%**で全体の半数以上となりますが、全国データでは**67.7%**となり、沖縄県の高齢者の主観的な経済状況は全国平均よりも厳しい状況であることがわかりました。

世帯収入（1か月当たりの平均額）

※引用したデータは、内閣府「令和5年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査」
※全国データとの比較のため、65歳以上のデータで集計しています。

Q あなたの収入と、同居されているご家族の収入(年金を含む)をすべて合計すると、税込みで1か月当たりの平均額はおよそいくらくらいですか？

(%)		
世帯収入（1か月当たり）	沖縄県	全国
収入はない	1.7	1.8
5万円未満	4.2	2.0
5万円～10万円未満	11.6	7.3
10万円～15万円未満	14.8	11.6
15万円～20万円未満	15.4	14.4
20万円～25万円未満	14.8	13.5
25万円～30万円未満	10.8	11.8
30万円～40万円未満	9.9	13.6
40万円～60万円未満	7.5	10.0
60万円～80万円未満	2.6	3.4
80万円以上	2.6	3.5
無回答（※）	4.2	7.2

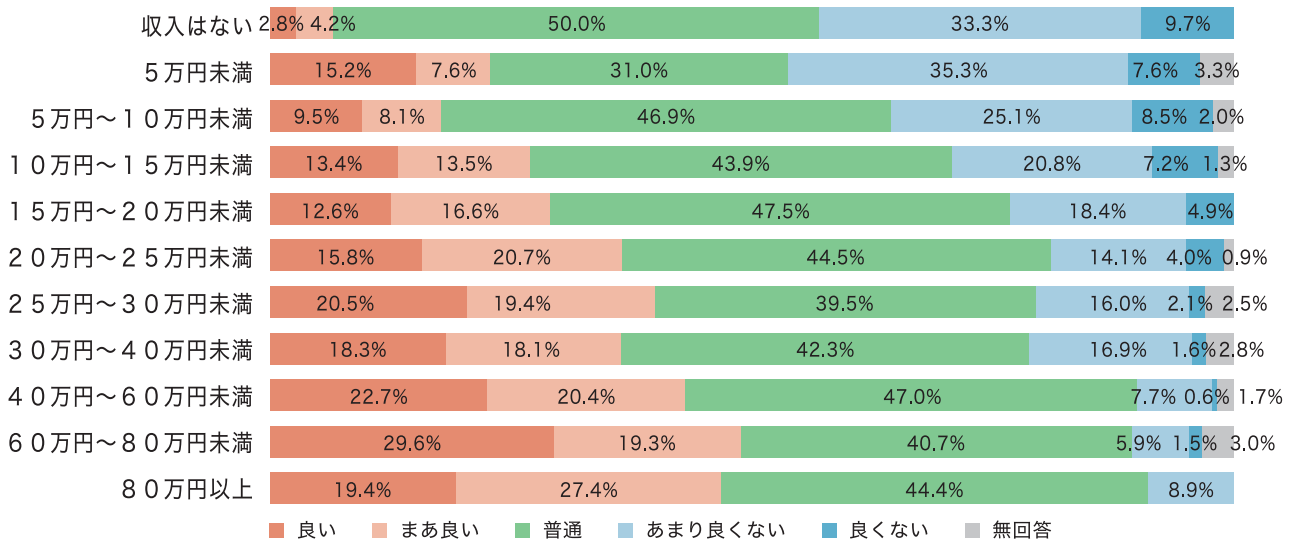
（※）全国は「不明・無回答」

沖縄県の高齢者が抱える経済的な困窮感は、主観的な感覚ではなく、世帯収入25万円未満の層が全国より割合が高いことから、実際の経済状況を反映したものであることが読み取れます。

世帯収入と健康の関係

Q あなたの現在の健康状態はいかがですか？

■世帯収入別 現在の健康状態



世帯収入が低い層では健康状態が、「あまり良くない」「良くない」と回答する割合が高く、一方で世帯収入が高い層では「良い」「まあ良い」と回答する割合が高まる傾向がありました。

世帯収入と食事・口腔機能の関係性

■世帯収入別 肉や魚を食べる頻度

	毎日1回以上	週2～6回	週1回以下
収入はない	8.3	41.7	47.2
5万円未満	18.5	48.4	27.7
5万円～10万円未満	24.0	46.9	26.3
10万円～15万円未満	25.8	54.9	18.4
15万円～20万円未満	28.3	55.1	16.0
20万円～25万円未満	30.1	60.3	9.0
25万円～30万円未満	31.6	58.6	7.6
30万円～40万円未満	35.2	56.9	5.4
40万円～60万円未満	49.7	44.2	5.5
60万円～80万円未満	45.2	45.9	7.4
80万円以上	53.2	41.9	3.2

■世帯収入別 野菜や果物を摂る頻度

	毎日1回以上	週2～6回	週1回以下
収入はない	43.1	38.9	15.3
5万円未満	49.5	34.2	12.0
5万円～10万円未満	53.1	33.3	11.5
10万円～15万円未満	53.9	41.4	3.8
15万円～20万円未満	55.4	40.2	4.1
20万円～25万円未満	66.0	31.1	2.3
25万円～30万円未満	57.2	38.2	2.5
30万円～40万円未満	65.8	29.8	2.0
40万円～60万円未満	73.2	25.1	1.1
60万円～80万円未満	67.4	26.7	4.4
80万円以上	77.4	16.1	4.8

■世帯収入別 かんで食べる時の状況

	何でもかんで食べることができる	かみにくいことがある	ほとんどかめない
収入はない	38.9	55.6	5.6
5万円未満	39.7	56.5	1.6
5万円～10万円未満	45.7	47.7	4.6
10万円～15万円未満	57.9	37.6	3.9
15万円～20万円未満	59.4	39.1	1.5
20万円～25万円未満	61.2	36.9	1.2
25万円～30万円未満	61.2	34.2	2.5
30万円～40万円未満	67.6	29.8	1.0
40万円～60万円未満	70.2	28.2	1.1
60万円～80万円未満	80.7	16.3	1.5
80万円以上	79.8	19.4	0.8

健康と食事が密接に関連していることを踏まえ、世帯収入と食事内容、口腔機能との関係をみたところ、世帯収入が高いほど肉や魚、野菜、果物などの摂取頻度が高く、咀嚼能力も高いということがわかりました。



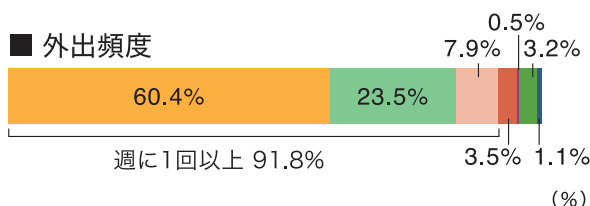
世帯収入と栄養状態には
深い関係がみられるんだって



外出・移動 編

■ ほとんど毎日 ■ 2～3日に1回
 ■ 週に1回 ■ 月に1～2回
 ■ 年に数回 ■ ほとんど外出しない
 ■ 無回答

外出頻度と目的



■ 外出頻度別 外出目的(複数回答)

	買い物	趣味・余暇 社会活動	銀行や 役所など	仕事	散歩	知人・親族 などを訪問	通院	デイサービス などへの通所	その他
ほとんど毎日	80.6	43.9	35.7	52.3	36.5	28.9	33.0	3.9	6.4
2～3日に1回	84.2	31.0	38.6	15.2	31.6	27.0	45.7	13.4	4.3
週に1回	76.6	18.6	31.7	8.3	17.4	13.1	46.9	7.1	4.0
月に1～2回	48.7	7.8	24.0	7.1	11.0	9.1	66.9	7.1	7.8
年に数回	17.4	8.7	-	-	4.3	8.7	60.9	21.7	4.3
ほとんど外出しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-

高齢者の9割以上は、週に1回以上外出しており、外出の目的も多岐にわたります。しかし、外出頻度が月に1～2回以下まで減少すると、「通院」「デイサービスなどへの通所」を目的とした外出の割合が高まり、それ以外を目的とした外出は減少する傾向が見られました。

外出頻度と移動手段

■ 外出頻度別 移動手段(複数回答)

	自分で運転 する自動車	家族などの 運転する 自動車	バス・ コミュニティ バス	モノ レール	徒歩	自転車 (電動アシスト のものを除く)	電動 アシスト 自転車	シニアカー	バイク・ スクーター	タクシー・ デマンド タクシー	自分で 操作する 車いす	介助者が 必要な 車いす	その他
ほとんど毎日	82.3	24.1	9.7	9.0	38.9	3.6	0.6	0.2	5.4	5.1	0.2	0.7	1.1
2～3日に1回	57.7	46.4	11.7	8.7	33.7	2.6	0.8	1.0	2.2	11.6	0.2	2.1	1.9
週に1回	45.4	46.3	11.4	1.7	20.6	0.9	-	0.9	2.6	11.7	-	2.3	2.9
月に1～2回	28.6	55.8	5.2	2.6	19.5	1.9	-	1.3	4.5	21.4	-	3.9	1.3
年に数回	17.4	78.3	-	-	13.0	-	-	8.7	-	-	8.7	17.4	-
ほとんど外出しない	-	16.3	1.4	-	1.4	1.4	-	-	-	7.1	-	2.8	2.8

ほとんど毎日外出する高齢者の移動手段では、「自分で運転する自動車」が8割を超え次いで「徒歩」が多いという結果となりました。一方、外出頻度が低くなるにつれて、「自分で運転する自動車」が減り、「家族などの運転する自動車」や、「タクシー・デマンドタクシー」など、いずれも車を使った移動手段の利用の割合が高まる傾向があります。

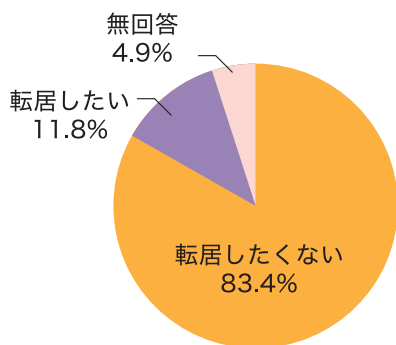


高齢者にとっても、自動車が重要な移動手段となっているね～



住まい・暮らし 編

転居の希望と住宅の問題点の関係



転居したくない と答えた方が 8割超え！

〔 住み続けるつもり／
住み続けることにも不安がある 〕

● 現在のお住まいの住宅の問題点 ●

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1 住まいが古くなり、いたんでいる | ……35.3 % |
| 2 地震、風水害、火災などの防災面や防犯面で不安がある | ……18.0 % |
| 3 家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い | ……17.2 % |
| 4 段差や階段等があり使いにくい | ……13.1 % |
| 5 断熱性や省エネ性能が不十分 | ……12.5 % |
| 6 交通の便が悪い | ……10.8 % |
| 7 台所、便所、浴室などの設備が使いにくい | ……10.2 % |

こんなことがわかりました

- ☒ 年代があがるほど「段差や階段等があり使いにくい」を問題点に上げる割合が高い
- ☒ 子どもがいない方は「住まいが古くなり、いたんでいる」と答えた割合が高い
- ☒ 貯蓄総額が高くなるほど「何も問題点を感じていない」が高い傾向にある

参照：報告書本編 図表II-3-8 住宅の問題点、P33

身体が弱ってきたときの希望の暮らし

Q あなたはもし、身体が虚弱化してきたら、どこで暮らしたいと思いますか？
(複数回答)

1位	現在の住居で居宅介護サービスを受けながら暮らし続ける	53.3%
2位	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム等）に入所する	45.0%
3位	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅 住宅型の有料老人ホームなど）に入居する	19.1%
4位	現在の住居で子や親族などに世話をしてもらう	16.8%
5位	子や親族などがある地域に移って世話をしてもらう	3.4%

身体が弱ってきたとき、半数以上の方が「現在の住居で居宅介護サービスを受けながら暮らし続ける」ことを希望しています。住み慣れた地域や自宅で、可能な限り自立した生活を送りたいという高齢者の強い意向を示しています。

高齢者にとって住まいは、単なる生活の場ではなく、健康で尊厳ある生活を送るための基盤です。高齢者一人ひとりのニーズに合わせた住環境の整備と、地域社会全体で支え合う仕組みづくりが、今後の重要な課題となるでしょう。



高齢者の住まいに対するニーズと
現状の住環境との間には隔たりがあるみたい



高齢期の生活全般でのお困りごとや、その他、ご意見・ご要望など

(自由回答の分類結果)

分類	(%)	概要
年金制度への不満・改善要望	31.6	- 年金額の少なさ、物価高による生活費不足 - 年金制度の不公平さ、世代間格差 - 年金からの税や保険料負担の大きさ - 遺族年金制度の見直し
高齢者の生活支援・福祉制度の不備	19.2	- 高齢者専用住宅、交流促進施設の不足 - 孤立防止対策への期待 - 移動手段の不足、公共交通機関の利便性向上 - 買い物支援や家事支援サービスの不足
高齢者の経済的困窮	16.8	- 年金収入のみでの生活の厳しさ - 生活保護基準の高さ - 経済的支援制度の不足
介護・医療サービスの不足・負担	16.7	- 介護施設の不足、入所困難 - 介護保険料の負担増、サービス利用料の高さ - 訪問介護サービスの不足、質への不満 - 医療費負担の大きさ、医療制度への不満
高齢者の健康問題・健康寿命	15.7	- 病気予防、健康増進施策の不足 - リハビリテーションサービスの不足 - 認知症対策の遅れ
高齢者の住宅問題	13.0	- 高齢者向け住宅の不足、低家賃住宅の不足 - バリアフリー住宅の不足 - 住み替え困難
高齢者の孤独・孤立	12.2	- 一人暮らし高齢者の増加 - 地域社会とのつながりの希薄化 - 交流機会の不足
高齢者の安全・安心	12.0	- 交通事故、犯罪被害への不安 - 防犯対策の強化 - 緊急時対応サービスの不足
高齢者の社会参加・生きがい	11.5	- 就労機会の不足 - 社会参加機会の不足 - 生きがいを見つける支援の不足
高齢者介護者の負担	11.2	- 家族介護の負担増 - 老老介護の深刻化 - 介護者への支援不足
高齢者の移動手段の確保	8.3	- 運転免許返納後の移動手段の不足 - 公共交通機関の利便性 - 高齢者向け移動サービスの不足
高齢者に対する社会のあり方	8.2	- 高齢者差別、偏見 - 高齢者を支える社会システムの必要性 - 次世代への負担増の懸念

※自由記述欄に寄せられたコメントのうち、精査を行い、624件を分析対象とした。

調査の概要

調査期間	令和6年11月7日～11月30日
調査対象	沖縄県内在住の満60歳以上の日本人男女 4,000人(施設入所者は除く) (住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定)
調査の方法	郵送調査(オンライン回答併用)
有効回答数(率)	2,377件(59.4%)

編集・発行

沖縄県 保健医療介護部 地域包括ケア推進課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

TEL:098-894-2152

FAX:098-862-6325

地域包括ケア推進課
ホームページ

